

# 水産業分野

戦略の柱1. 漁業の生産高を伸ばし、漁業収入を向上

取組方針1. 漁業生産量の確保

【施策1. 漁港・漁場の整備・活用】

- 漁獲の増加に貢献する「土佐黒潮牧場」の整備
- カツオ一本釣船への安定した活餌の供給
- 沈設型魚礁の再整備に向けた取組

【施策2. 資源の確保と栽培漁業の推進】

- 磯焼け対策・干潟の機能回復
- ヒラメなどの大型種苗の放流と効果の検証

【施策3. 漁業秩序の確立】

- 漁業違反の取締強化
- 紛争の解消と規制緩和の推進

【施策4. 広く「漁業の担い手」を確保】

- 新規漁業就業者の研修受入地区や対象漁業種類の拡大及び支援制度の充実

【施策5. 漁業の収益性の向上】

- 底びき網の経営改善を支援

【施策6. 就労の場の確保】

- 定置網の漁協自営による就労の場の確保

網漁業の経営改善を支援

取組方針2. 水産物の販売力の強化と魚価の向上

【施策1. 魅力ある産地市場づくり】

- 拠点市場における入札方法の改善や陸上集荷の実施
- 衛生管理の高度化など拠点市場の機能強化
- 産地市場の計画的な統合を推進
- 中芸定置網漁獲物のブランド化

【施策2. 県漁協の買取販売事業の強化】

- 仕入・販売体制の一元化
- 販路の拡大等
- 販売子会社による販売事業の拡充

【施策3. 地産地消の推進】

- 「土佐のおさかなまつり」の開催などによる消費の拡大
- たたき料理など高知の食文化の情報発信
- 県内の小・中学生を対象とした食育活動の展開

【施策4. 地産外商の推進】

- 県外消費地市場との交流促進
- 買受人の組織化と主体的な活動の促進
- 時間距離を短縮する新たな物流の構築
- 県産水産物の統一ブランドの確立

強みを売いとした外商の推進

【施策5. 生産者による直接出荷の推進】

- 生産者による直接販売とブランド価値の向上

取組方針3. 養殖業の振興

【施策1. 既存養殖漁業の振興】

- 養殖魚の地産外商の推進
- 効率的な給餌方法などの開発

県産養殖魚の認知度を高める

【施策2. 企業活力を活かした養殖漁業の振興】

- 高品質なカンパチ種苗の量産化
- マグロ養殖の振興

戦略の柱2. 漁業費用を削減

取組方針1. 漁業者による漁業費用の削減

- 省エネエンジンの導入による漁業経営の改善
- 漁場探索による効率的操業の推進
- 資源管理・漁業所得補償対策の推進

効率的な操業の推進

取組方針2. 漁協による漁業費用の削減

- 漁協役職員の人材育成
- 県漁協の組織再編整備計画の着実な実行
- 供給価格の引き下げに向けた購買事業の見直し
- 漁業者に対する経営指導の強化

漁業者の所得向上

中核的な漁業・漁村の担い手の確保

今後も持続する漁業・漁村

戦略の柱3. 水産加工を振興

取組方針1. 地域加工グループによる雇用の場の確保

- 雇用の場としての持続可能な活動の展開を支援

取組方針2. 水産加工業の新たな事業化の推進

- 事業化を軌道に乗せるための原料魚確保や販路確保等を支援
- 生産・流通・加工業者のマッチングによるビジネス機会の拡大
- 漁業者による6次産業の事業化
- 衛生管理の高度化を推進

新たな事業化

取組方針3. 伝統的な水産加工業の振興

【施策1. 宗田節加工業の振興】

- 認知度向上、ブランド化の推進
- 新製品の開発、販路開拓を支援

【施策2. シラス加工業の振興】

- 高知新港への水揚げの集約化

戦略の柱4. 地域資源を活用し、交流を拡大

取組方針1. 滞在型・体験型観光の推進

- 主要な観光地から漁村へ誘客できる魅力ある商品づくりと情報発信の強化

取組方針2. 資源豊かで賑わいのある河川づくりの推進

- アユ資源の増殖に向けた種苗放流などの実施
- 誘客のためのアマゴの冬季解禁

地域の所得向上

# 餌料用カタクチイワシの安定供給システムの開発

## 現 状

佐賀地区の活餌供給は一定定着したが、活餌の確保が不安定

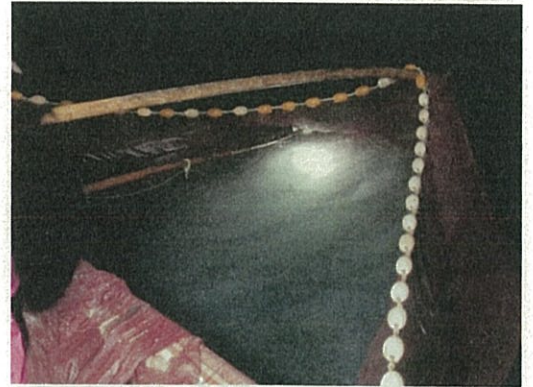
- ・県外活餌業者の廃業が増加
- ・県内での活餌採捕がほとんどない

## 活餌の安定確保が最重要課題！

### 活餌用稚魚の確保

養成活餌：小型まき網漁業で漁獲したカタクチイワシ稚魚

養殖活餌：カタクチイワシの親魚養成、種苗生産による稚魚



### 活餌用稚魚の飼育

活餌サイズまで小割筏で育成  
出荷時期を調整する技術開発  
飼育・種苗生産コストの低減



### 養成・養殖活餌の評価

かつお漁船に積込み、実操業で活餌を評価



活餌の供給及び価格の安定

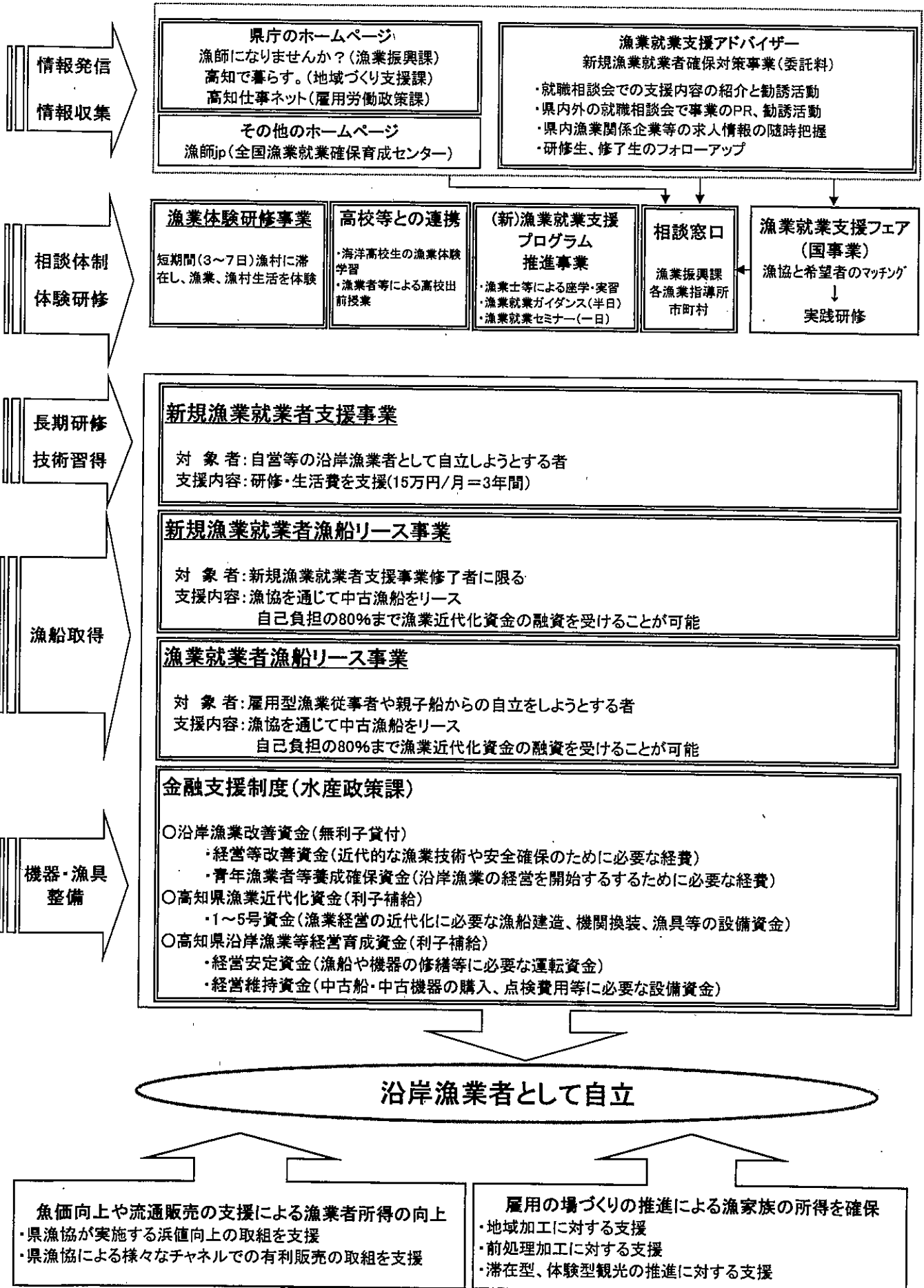
かつお船の操業効率アップ

小型まき網漁業の収入増加



県内水揚げの増加

# 漁業の担い手の確保

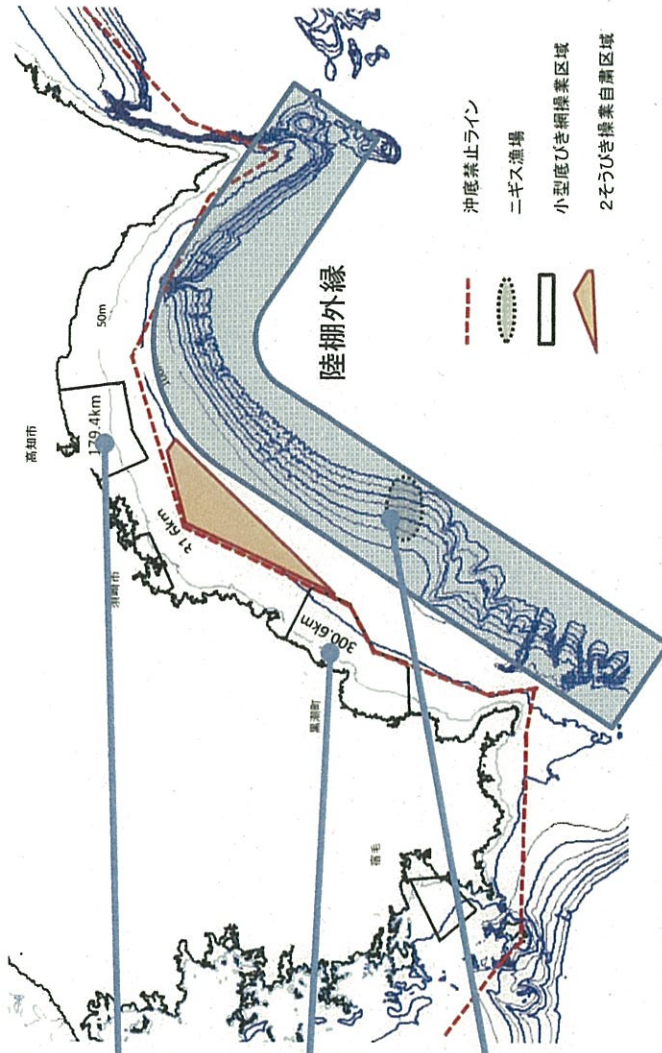


現状

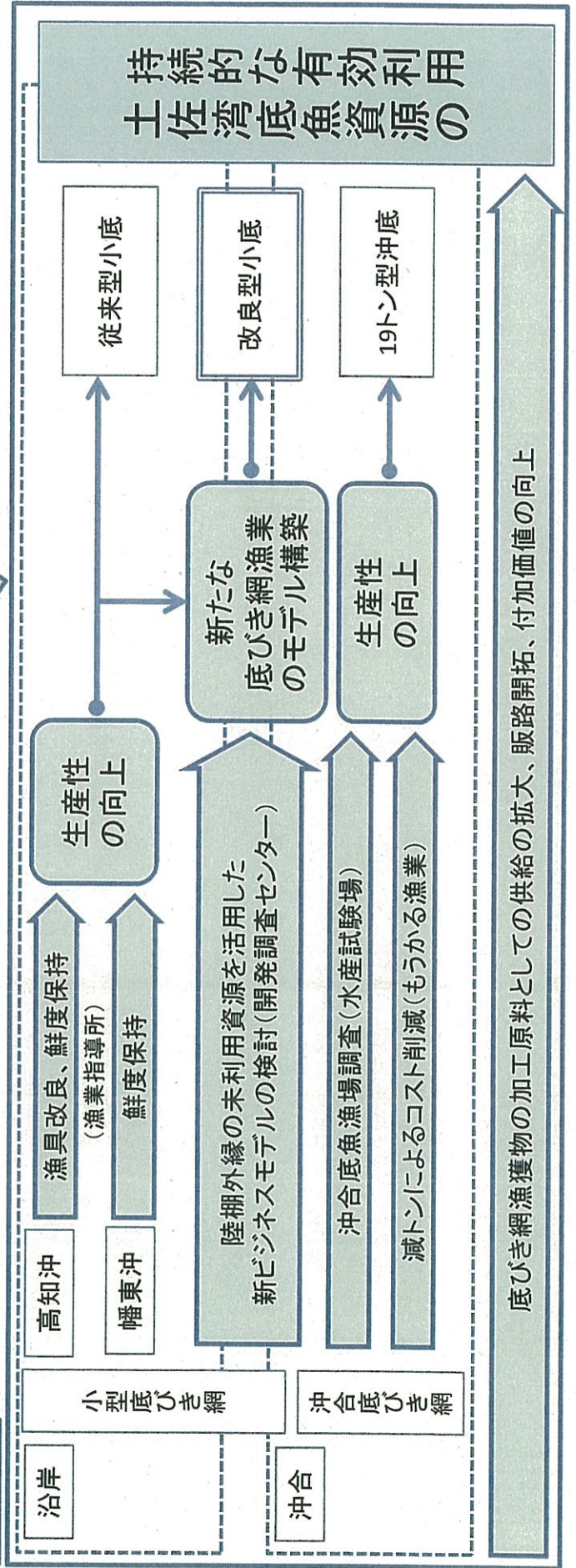
【小型底びき】(高知沖)  
 ・魚価の良いエビ資源の減少  
 ・厳しい経営、業者減、高齢化  
 ・都市型漁業の魅力、新規参入(研修生)

【小型底びき】(幡東沖)  
 ・近年新たな許可漁業として操業開始  
 ・漁獲量の低迷  
 ・漁具改良(H23～)により向上  
 ・六次産業化による新商品開発

【沖合底びき】  
 ・経営体の減少、漁船の老朽化  
 ・漁労コストの増大  
 ・陸棚外縁に未利用資源の可能性



H25～



底びき網漁獲物の加工原料としての供給の拡大、販路開拓、付加価値の向上

# 高知県漁協による定置網漁業経営への支援

## 目的

年々減少する県内の水揚高を一定維持するため、比較的水揚高が安定している定置網漁業の継続を支援することで、漁村の雇用の場を確保するとともに、地域産業に寄与することを目的とする。

## 背景

- ◆ 土佐清水市足摺岬にある伊佐共同大敷組合は、(株)マルハニチロ水産との共同経営により定置網漁業を操業
- ◆ (株)マルハニチロ水産は、来年度共同経営から撤退することを決定し、定置網漁業の存続の危機が表面化
- ◆ 従業員16名の雇用の場が失われ、地域産業の衰退を懸念
- ◆ 定置網漁業の操業が途絶えてしまうと、後継者に技術の承継が行われず、定置網漁業の再開は困難

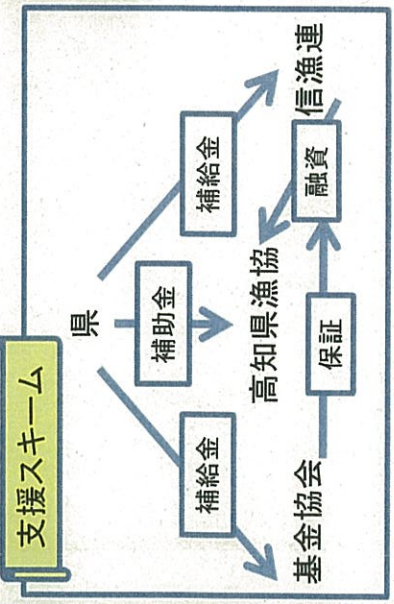


|          | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|----------|------|------|------|------|------|
| 水揚量(トン)  | 386  | 507  | 611  | 361  | 544  |
| 水揚高(百万円) | 98   | 169  | 127  | 92   | 95   |

## 支援内容

高知県漁協による定置網漁業の経営開始に必要な、漁具・漁船等の購入や、資金の調達を支援

- ◆ 漁業就労確保支援事業費補助金  
漁具・漁船等の購入経費に対する補助
- ◆ 漁業就労確保支援資金利子補給金  
定置網を経営するにあたり借入れる資金に対する利子補給
- ◆ 漁業就労確保支援資金保証料補給金  
定置網を経営するにあたり借入れる資金に対する保証料補給



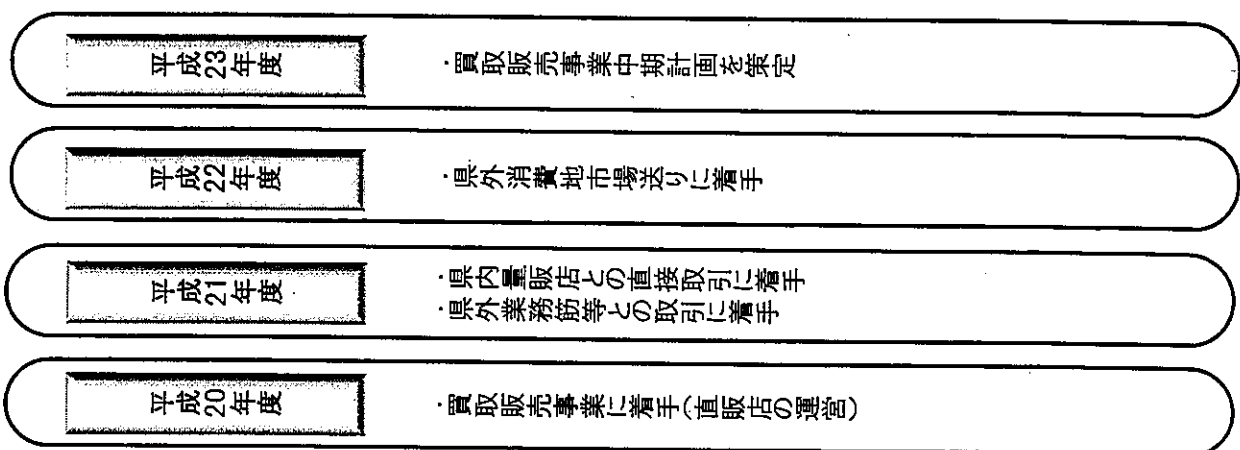
## 効果

- ◆ 水揚高を確保し、沿岸漁業を振興
- ◆ 漁村の雇用の場を確保
- ◆ 後継者への技術の承継
- ◆ 地域産業の振興に寄与
- ◆ 高知県漁協が策定した経営改善計画の実現を支援
- ◆ 高知県漁協が高鮮度物流による直接販売に着手



# 高知県漁協の買取販売の取組

## 1. これまでの取組



販売子会社

高知県漁協

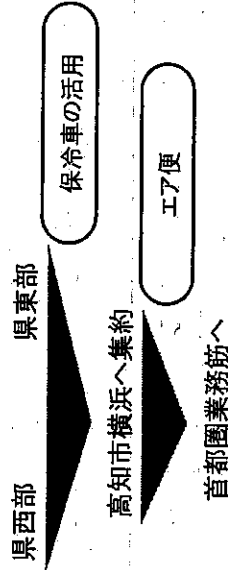
## 2. H24年度の取組

販売子会社の円滑な運営

- ★販売子会社を設立し、直販事業を移管
- ★県内の仕入・物流を横浜店に集約化

販売事業の展開と物流体制の構築

★エア便による、首都圏業務筋への新たな物流の試行



★県内量販店、業務筋との直接取引の拡大

- ★地産外商加速化品目の販売強化
  - MEL認証魚種のアジア開催（東京）
  - 消費地市場送りの継続
  - 県外業務筋等との取引拡大

人材育成

★専門講習の受講等による人材の育成

## 3. H25年度の取組

子会社の運営と円滑な業務の移行を担うアドバイザーを継続して配置

県の消費拡大や外商機会拡大の取り組みと連動し、エア便の活用等による首都圏・関西圏の業務筋への販路拡大の支援

★エア便を活用した販売事業の展開

- 首都圏：継続的な出荷と、新たな顧客の獲得
- 関西圏：新たな物流の試行と顧客の獲得

★地産外商加速化品目を中心とする販売強化

専門講習の受講等による、販売事業を担う人材の育成を引き続き支援